

熊本都市道路ネットワーク検討会

設立趣意書

熊本市は、自然と歴史に恵まれた城下町を成し、熊本地震からの復興、熊本駅周辺や桜町の再開発など、新たな“まち”に生まれ変わる活力に満ち溢れており、今後の地域発展の成長ポテンシャルが高い広域交流の要となる都市である。

また、熊本県内の高規格幹線道路や地域高規格道路の整備は、着実に進んでおり、広域道路ネットワークが徐々に構築され、熊本市と九州各県の主要都市との連携・交流機能が強化されてきているところである。

しかしながら、熊本市の道路交通は、市内中心部の平均時速16^{キロ}（全国政令市ワースト1位）、市内の主要渋滞箇所数180箇所（全国政令市ワースト1位）など、市内一円で慢性的な交通混雑が発生している。

さらに、市内中心部と高速道路インターチェンジや空港などの交通拠点へのアクセス性が低く、道路インフラの脆弱性が際立つ中に、交通混雑の解消が、長年の課題となっている。

これらの熊本市を中心とした道路交通の課題により、九州の中心としての広域交流拠点の機能が果たせていない実情にある。

このような背景から、熊本市を中心とした道路交通の課題を解消し、潜在する成長ポテンシャルを向上させ、熊本県内はもとより、九州全体の地域経済の発展に寄与し、新しいくまもとの礎をつくるため、国、県、市等が一堂に介し、熊本市にとって真に必要な将来の新たな道路ネットワークの構想・計画等について、都市内交通の円滑化を踏まえつつ、あらゆる角度からの幅広い検討を行う「熊本都市道路ネットワーク検討会」を設立するものである。